

アンケート結果

「市民意識に関するアンケート調査」は、現在やこれからの高梁市に対する考えやご意見などの市民ニーズを把握するため実施したものです。

調査の方法

【調査地域】 市内全域

【調査対象】 市内に住む満20歳以上の男女1000人

【抽出方法】 住民基本台帳より無作為抽出

【調査時期】 平成21年2月～3月

【回答数】 556通（回答率55.6%）

結果

高梁に自分のまちとしての愛着は感じるか

▼「感じている」(58.8%)がもっと

も多く、次いで「少し感じている」(27.7%)と、合わせて86.5%の人が『愛着を感じている』と回答しました。

また「どんなところに愛着を感じていますか」には、「生まれ育った」(58.2%)、「豊かな自然や伝統文化がある」(16.0%)、「生活しやすい」(10.4%)の順でした。

現在住んでいるところに今後も住み続けたいか

▼「住み続けたい」(75.0%)、「わからない」(11.0%)、「市外に転出したい」(8.6%)の順でした。

また「転出したい」と答えた人の理由には、「保健・医療・福祉の体制や施設が不十分」(45.8%)、「買い物など生活上の利便性が悪い」(41.7%)、「働く場所が少ない」(37.5%)という回答が多く見られました。

市のまちづくり施策の満足度について

▼「文化財の保存」「ごみ処理やリサイクルへの取り組み」、「自然景観や環境保全」の順で回答が多く寄

せられました。

市のまちづくり施策の重要度について

▼「地域医療体制の充実」、「消防、救急体制の整備」、「雇用の場の確保」の順でした。

今後、高梁がどんなまちになればいいと思うか（複数回答）

▼「高齢者が安心して暮らせる福祉の充実したまち」(63.8%)、「地域医療の充実したまち」(45.7%)、「子どもを安心して産み育てる環境の整ったまち」(42.8%)でした。

「市がどのような施策を重点的に行うべきか」

を分野別に尋ねました。（複数回答）

〈産業の振興〉

▼「労働対策の推進」(39.0%)、「担い手農家の育成」(29.0%)、「遊休農地の解消」(18.7%)の順でした。

〈生活交通体系や

情報通信体系の整備〉

▼「生活道の整備」(47.7%)、「福祉バスなど生活交通の整備」(46.2%)、「民間バス、鉄道など公共交通機関の充実」(20.3%)の順でした。

〈生活環境の整備〉

▼「限界集落対策など地域力の強化」(35.8%)、「ごみ処理やリサイクルなどの環境対策」(32.9%)、「太陽光など自然エネルギーの活用」(30.6%)の順でした。

〈保健、福祉、医療〉

▼「介護保険の充実など高齢者福祉」(42.4%)、「医療施設や設備の整備など医療の充実」(40.8%)、「仕事との両立が可能な子育て支援」(24.5%)の順でした。

〈教育や地域文化の振興〉

▼「地域に根ざした学校づくり」(40.1%)、「青少年の健全育成」(31.1%)、「教育施設の整備・充実」(17.8%)の順でした。



＜若者の定住や

ＵＪターンの促進＞

- ▼「企業誘致など雇用の場の確保」(55・9 割)、「保健医療施設や制度の充実」(26・6 割)、「子どもの養育にかかる経済的負担の軽減」(22・3 割)の順でした。

＜消防、防災体制の充実＞

- ▼「避難所の安全確保と整備」(45・9 割)、「水害対策としての河川整備」(29・5 割)、「自主防災組織の充実」(21・9 割)の順でした。

行政情報は何によって得ているか (複数回答)

- ▼「広報紙」(82・9 割)、「新聞」(57・2 割)、「ケーブルテレビ」(52・2 割)の順でした。

また「行政情報を得る手段として期待するもの」には、「広報紙」(73・0 割)、「ケーブルテレビ」(52・3 割)、「新聞」(22・5 割)の順でした。

子育て支援対策として、どういったことが必要か(複数回答)

- ▼「仕事との両立が可能となる保育施設の充実」(55・2 割)、「出産

に対する補助制度の充実」(38・5 割)、「子どもの医療費の助成制度拡充」(36・7 割)の順でした。

吉備国際大学等との連携でどこに重点を置くべきか(複数回答)

- ▼「市内経済の活性化に関すること」(40・6 割)、「教育や福祉、人材の育成に関すること」(40・5 割)、「地域振興・まちづくりに関すること」(36・3 割)の順でした。

市の計画づくりやまちづくりに参加したいと思うか

- ▼「積極的に参加したい」(5・9 割)と「機会があれば参加したい」(57・2 割)と6割以上の人が『参加したい』と回答しています。

行財政改革で、今後何に重点を置いて取り組むべきか

- ▼「新たな行政課題に対応できる市の組織、機構の見直し」(28・2 割)、「計画やその達成率の公開など透明性の高い行政運営」(26・1 割)、「市職員の能力向上と意識改革」(23・6 割)の順でした。

寄せられた意見の一部を紹介します

- ▼少子化が深刻になる理由は子どもをみてる人がいない(預ける所がない)から。保育の充実した制度や、病児保育園の設置を。(高梁30 歳 女性)

- ▼地域みんなが顔見知りで、子育てしていけるような、イベントや施策があればいいと思う。(高梁・40 歳 女性)

- ▼高梁は農村なので、農業を基幹産業として、活力ある姿を創出してほしい。特に鳥獣害対策には思い切った施策が必要。(有漢・75 歳以上 男性)

- ▼「〇〇地域」という区別をなくして、全地域をひとまとめにし、分け隔てない暮らしができることが願い。広い地域で合併したのだから広い心で交流したい。(成羽・75 歳以上 男性)

- ▼少子化対策に特化した市政も面白いのでは。他市とは違う市政を。(備中・25 歳 男性)

- ▼市の中心部だけでなく、端の方まで同等のサービスが受けられるよ

うに。高齢化で車の運転もできなくなり、将来は病院や買い物にも行けなくなる人が増えてくる。交通の便なども考えてほしい。また体育施設は山の上ではなく、子どもが参加しやすいように交通の便がよい所に。(高梁・45 歳 女性)

今回のアンケートを基に市民ニーズについて分析すると市民の施策のニーズは、①雇用の場の確保と地域産業の振興②子どもから高齢者まで、誰もが安心して健康でいきいきと暮らせる環境づくり③道路網や公共交通の整備などについて、より優先的に改善に取り組むことを求めているといえます。

こうしたアンケート結果を十分踏まえ、市民の皆さんにも分かりやすく実効性の高い総合計画を策定することとしています。

なお、アンケート結果は、市のホームページにも掲載しています。総合計画策定について、引き続きご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ 企画課企画係 (TEL) 0208、企画課公聴広報係 (TEL) 0210